

広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会

第21号 2008.8



地域のイベント情報

8月

春日部コミュニティ夏まつり【春日部市】
日 8 / 30 場 春日部市庄和総合公園
名 春日部市コミュニティ推進協議会

コミュニティ映画会【蓮田市】
日 8 / 30 場 蓮田市コミュニティセンター
名 蓮田市コミュニティづくり推進協議会

9月

親子釣り教室【坂戸市】
日 9 / 6 場 越辺川石今橋付近
名 坂戸市コミュニティ協議会

こどもフェスタ【三郷市】
日 9 / 14 場 高州地区文化センター
名 三郷市コミュニティ協議会

10月

北本市コミュニティ体育祭【北本市】
日 10 / 19 場 北本市内8小学校
名 北本市コミュニティ協議会

幸手市民まつり【幸手市】
日 10 / 19 場 幸手市中央通り
名 幸手市コミュニティづくり推進協議会

美里コミュニティまつり【美里町】
日 10 / 19 場 美里コスモスまつり会場
名 美里町コミュニティ協議会

白岡町ふるさとまつり【白岡町】
日 10 / 19 場 白岡町コミュニティセンター
名 白岡町コミュニティ協議会

ミニ鉄道運転会【富士見市】
日 10 / 25 場 文化の社公園
名 富士見市コミュニティ協議会

PRESENT

参加した方に
コミュニティ参加証明書
プレゼント!
数に限りがあります。



マークの説明 日...開催日 場...開催場所 名...市町村協議会名
イベント情報について詳しく知りたい方は4ページをご覧ください。

主な内容

P2 平成20年度総会報告

- ・会長あいさつ
- ・事例発表 騎西町コミュニティ協議会
埼玉県生活学校連絡協議会

P3 NPOについてご存知ですか?

～ボランティア団体からNPO法人へ～

市町村コミ協の魅力発見

- ・さいたま市コミュニティ協議会
- ・和光市コミュニティ協議会

P4 地域の絆

～NPOと地域住民との協働による「地域交流バザー」～

お知らせ

「プチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。
詳細については事務局へお問い合わせください。

彩の国コミュニティ協議会 会員 & 賛助会員 募集!!

コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局まで御連絡ください。

会員

企業・団体
会費：企業 1口 5,000円を2口以上
団体 1口 5,000円を1口以上

賛助会員

個人
会費：1口 2,000円

賛助会員だけの入会特典

コバトンストラップ又はコバトン在バッチ(2個)をプレゼント!



入会記念として

コバトンストラップ又はコバトン在バッチ(2個)をプレゼント!

平成20年度定期総会開催報告

平成20年6月9日（月）に平成20年度の定期総会を開催し、多くの方に御出席いただきました。平成19年度事業報告や平成20年度事業計画（案）等について審議が行われ、原案どおり承認されました。また、総会後は騎西町コミュニティ協議会と埼玉県生活学校連絡協議会による事例発表会が行われました。

会長あいさつ

speech of welcome



本日は本当にお忙しい中、多くの皆様に御出席いただき心から感謝申し上げます。

よく「自助、共助、公助」という言葉を耳にします。自分達にできることは自分たちでやる、助け合いの中でできることはお互いに助けあ

う、それができない部分は公（おおやけ）の力でしっかりやっというものです。コミュニティ協議会はその中の「共助」の部分をたくさん作るというのが一番の目的です。

犯罪が多いからといって警察官を増やしても、その給料を払うために税金があがっていくのではつらい。そこで自分たちでできることは自分たちでやろうと民間のパトロールを増やし、多くの方々に参加していただきました。平成16年4月は515団体でしたが現在は4,500を超え、東京都を抜いて1位となりました。その結果、侵入盗の検挙率は20%以下から50%近くまで上がり、さらに全体としての検挙率も2倍に上がりました。この上昇は、やはりパトロールの効果だと思っております。

また、援助が必要な高齢者を元気な高齢者が最小限の費用で助ける取り組みを行っているところがあります。秩父市の「みやのかわ商店街」という、ナイトバザールを20年に渡って続けている大変熱心でパワーのある商店街が事務局を行っています。援助が必要な高齢者は

1時間あたり800円を払い、登録している元気な高齢者にお手伝いをお願いします。商店街が紹介料300円を受けとり、本人には500円の報酬が支払われます。報酬は地域の活性化のため秩父市内だけで使える地域通貨券で支払われます。またそれを貯めて、自分が必要な時に使ってもいいのです。これをボランティア貯蓄と言っています。こういう制度の仕組みはまさしく共助の社会であり、できたら埼玉県全体でこうしたことが可能になれば、いろいろなことが解決すると思います。

本年は洞爺湖サミットがありますが、もともと埼玉県は、緑を大事にしてきました。しかし30年の間にいつのまにか約6,500ヘクタール、だいたい東松山市と同じくらいの平地林がなくなっています。そこで、二酸化炭素を吸収する森林を本気で取り戻すため約14億を本年度予算として計上し、基金を設置しました。自動車税のうち約1.5%分、1台につき、だいたい500円ぐらいです。約6,500ヘクタールが失われていますので、4年間でその半分3,000ヘクタールを取り戻していきます。今までなかなか取り戻すことができませんでしたが、CO₂を出す自動車の所有者がCO₂を吸収する森林を作るという仕組みを作りました。まさに循環ですので大変いいアイデアだと思います。

これは県の職員が考えました。さきほどの元気な高齢者による援助もそうです。

私たちも一生懸命役に立つ人たちになりたいと思っております。皆様におかれましては、共助の精神で様々な事業に御参加をいただき、コミュニティ協議会が文字通り共助の世界の中心になりますように心からお願いを申し上げます。どうぞよろしく申し上げます。

事例発表

announcement

騎西町コミュニティ協議会

事務局職員 坂本 官 氏

騎西町コミュニティ協議会は区長会やボランティア団体、NPO等の25の団体で構成されています。

住民との連帯と協働による自主的なコミュニティ活動を展開しており、会則にある「心のふれあう住みよい地域社会を建設する」ために、地域を知り、好きになってもらうための様々な活動を4つの部会でしています。

地域コミュニティ活動を顕彰する「騎彩コミュニティ賞」、地域を知る発見する「町なか歩き隊」、老人クラブの方を招待し歌等でもてなす「心のふれあい教室」、若い方たちを対象とした「親子ふれあい教室」、町の宝大藤をみんなの手で咲かせようと結成された「大藤咲かせ隊」などです。



大藤咲かせ隊

騎西町コミ協では、地域の人が誇りにできるような地域づくりのきっかけを提供しています。

埼玉県生活学校連絡協議会

会長 高松 とし枝 氏

埼玉県には6校の生活学校があり、相互理解と運動連携を図るため埼玉県生活学校連絡協議会が設立されました。

生活学校とは、女性を中心に暮らしの問題、地域の課題など身近な問題について調査、学習し、他のグループや関係者と協働し地域的、社会的に実践的な解決を目指す団体です。

合成洗剤の汚染問題や食育、廃油回収運動等、生活に密着した課題に取り組んでいますが、昨年7月から本年12月末日まで、持続可能な地球を子孫に残すため、レジ袋削減運動に取り組んでいます。昨年末時点で全国では約870万枚、うち埼玉県では約6万7千枚のレジ袋を削減することができました。

今後とも皆様の御協力を賜りたいと思いますので、よろしく申し上げます。



プチ情報!

第33回ノーポイ運動創作品展示会

日時:平成20年8月24日(日)~31日(日) 場所:加須未来館 『見捨てればゴミ見直せば資源』をテーマに不要品(資源再利用)の創意工夫による作品等の作品展。お問い合わせ:埼玉東部明るい社会づくりの会連絡協議会 0480-62-7450



NPOについてご存知ですか？

地域のコミュニティ活動を支えている団体としてNPO法人があります。NPO法人の基礎知識を深めてもらうために、NPOに関するコーナーを設けました。

ボランティア団体から
NPO法人へ



【特定非営利活動促進法の制定】

NPOという言葉が一般的に知られるようになったのは、阪神・淡路大震災（1995年）の時でした。当時、NPOやボランティアが行政にはできなかった活動を展開し、広く注目されました。NPOやボランティアは、震災当時、極めて「機動的」で「多彩な（柔軟な）」救援活動を「迅速性」をもって行うことができたのです。

こうした背景のもと、1998年に特定非営利活動促進法（NPO法）が施行され、NPOに法人格が与えられるなどNPOの活動を促す法制度が整備されました。これにより、多くのNPO法人が設立されることとなり、社会的な注目を集めています。

2【ボランティア団体からNPO法人へ】

ボランティア団体とNPO法人の、最も大きな違いは法人格の有無といえるでしょう。皆様の自治会や企業の中には、ボランティア活動をしているグループはありませんか。

地域の防犯、お祭りやイベントの開催、環境美化活動や、スポーツ・芸術のサークル活動などの公益的な活動に参画している有志の集まりが作られていませんか。

その活動が内部だけでなく、一般向けの講習会や各種イベントなど

対外的な活動をしていませんか。

そして、何よりも自分たちの活動を広く社会にアピールし、もっともって発展させていきたいとは思っていませんか。

「NPO法人」という言葉もかなり認知されてきました。制度創設時は、すでに任意のボランティア団体として活動していた団体が法人になるという例が多かったのですが、最近では、「今はまだ計画段階だが、NPO法人として事業を行いたい。」と、活動開始前に法人を設立する例も増えてきています。

3【埼玉県のNPO法人】

NPO法人の制度ができて10年。埼玉県では、現在約1,200団体が認証されています。

活動開始から10年の節目にNPO法人化した団体もあります。一度、皆様の活動を振り返り、「NPO法人」という選択肢を検討されてみてはいかがでしょうか。

県では、NPOについての「県政出前講座」も行っています。是非御活用ください。

問合せ：埼玉県県民生活部NPO活動推進課 048-830-2818 まで

市町村コミ協の魅力発見！

1 さいたま市コミュニティ協議会

さいたま市コミュニティ協議会は、コミュニティづくりを市民運動として総合的に展開することにより、市民相互のふれあい及び連帯感のある明るく豊かな住みよい地域社会を形成することを目的として設立され、現在、86の市民活動団体及び個人で構成されています。



平成19年度コミュニティ講演会
講師 関口知宏氏

当協議会では、自らの住む地域を豊かで住みよく、安心して暮らせるものにしていくためには、そこに住む人たち自らが、相互のふれあいや連帯感を築いていくことが大切であり、今後、コミュニティの果たす役割は、ますます重要になっていくものと考えています。

そこで、コミュニティを考えるきっかけづくりの一環として、毎年「コミュニティ講演会」と題し、ご近所づきあいやふれあいなどをテーマに、様々なジャンルから講師をお招きして講演会を開催しています。



ポスターセッションでの交流

この試みによって、ポスターセッションに参加する団体同士はもちろんのこと、講演会に来場された市民の方々との交流を通じて、それぞれの団体、引いては、当協議会の活動の活性化につなげていきたいと思えます。

また、平成18年度からは、講演会会場ロビーにおいて、当協議会会員団体活動の発表の場として「ポスターセッション」を同時開催しています。

この試みによって、ポスターセッションに参加する団体同士はもちろんのこと、講演会に来場された市民の方々との交流を通じて、それぞれの団体、引いては、当協議会の活動の活性化につなげていきたいと思えます。

県内には69の市町村コミュニティ協議会（＝コミ協）があります。地域性、特性を活かして活動しているコミ協をPR！あなたのお住まいの地域で活動している市町村のコミ協はどこなところでしょうか？

2 和光市コミュニティ協議会

和光市コミュニティ協議会は、市内の8つの団体が昭和57年に発足し、「連帯感豊かな地域社会」「手づくりのまちづくり」等を主眼とし、事業を実施してきました。

さて、今回は自分たちのまちづくり意識を変えるきっかけとなった事例を紹介します。

きっかけは静岡県富士宮市への視察研修でした。富士宮やきそばを活用したまちづくりで成功した熱意ある担当者から繰り出される富士宮の魅力やPRに、みんなただ驚きうなずくだけでした。

一通り富士宮の紹介が終わった後に、それは起こりました。「和光市の魅力は何ですか？」の問いに会場は、水を打ったように静まりかえりました。お互いに顔を見合わせ、黙ってしまったのです。それこそ、うん十年和光市に住んでいる人たちであり、コミ協を通じたまちづくりを何年も行ってきたにもかかわらず、誰一人、自分のまちの魅力を説明できなかったのです。

そのショックから、昼ご飯もノドを通らないと思いましたが、全員やきそばを完食していました。

しかし、視察後の会議は今までとは違いました。堰を切ったように自分のまちに対する思いやこれまでのコミ協についての疑問をぶつけ合いました。その中で、「和光市銘菓づくり研究」や、和光市の人たちが培ってきた知識や経験をデータバンク化する「和光市おじちゃんおばちゃん知恵袋づくり」、子どもとお年寄りが安心して交流できる「公園づくり」等の新規事業が生まれました。

みなさんの協議会は、マンネリ化していませんか。そんな時は、まちづくりを実践している人たちに会い、刺激を受けることをお勧めします。まちづくりに対する意識が変わり、新しいまちづくりの手法がきっと見えてくるはずです。



事務局：さいたま市コミュニティ課 048-829-1068

事務局：和光市市民活動推進課 048-424-9120



地域のきずな絆

コミュニティ活動は地域住民や地域団体、企業等様々な団体のつながりで支えられています。そんな地域のつながり=「絆」を1年間の連載を通じ皆様にお伝えしていきたいと思ひます。今回は、地域住民とNPOとの協働による取組を紹介します。

地域住民とNPOとの協働による



「地域交流バザー」

特定非営利活動法人「彩星学舎」は、学齢、年齢を問わず、だれでも入学できるフリースクールを運営しています。県が実施する「若い世代のNPO参加応援事業」に協力するなど、様々な事業の中でも、特に盛況なのが、地域住民と協働して毎年秋に行われる「地域交流バザー」です。

きっかけは一人ひとりから

彩星学舎は、1999年4月にさいたま市浦和区にフリースクールとして開校しました。

始めた当初、チラシを配るなど、地域の人々に活動を知ってもらおう努力をしましたが、反応はあまりなかったようです。そこで、少しでも地域との接点を持つと、あらためて一軒一軒チラシを配って、家庭に余っている文具等の提供をお願いして歩いたそうです。興味を持たれた方には、積極的に話し掛けて理解していただく努力も怠りませんでした。こうした努力が次第に実り、地域の人たちとも少しずつつうち解け、文具以外の物も提供していただきました。せつかくたくさん物を提供してくれた人たちの気持ちを無駄にしないためにも、集まった物を活用してバザーを開くことにしたそうです。このバザーが定着して、現在の「地域交流バザー」となり、NPOと地域住民との交流の場になっています。



「沢山の人が訪れます」

賛同するNPOや企業も続々



「大盛況です」

「地域交流バザー」が浸透してくると、協力するNPOや企業も出てきました。バザーで売れ残った衣類をリサイクルに回すNPOなどが協力し、地元の企業も物品を提供するなど、様々な形でバザーを支えるようになりました。「地域交流バザー」は確実に地元に根付いた催しとなり、彩星学舎の運営を支える活動となっています。

「地域交流バザー」を支える地域住民

今年で9回目を迎える「地域交流バザー」は年々規模が大きくなり、昨年は3日間の開催で、およそ900人が訪れ、物を提供してくれた人は300人、洋服は3万着ほど集まりました。このバザーを支えているのが、たくさん地域のの方々です。始めは物を提供するだけの支援でしたが、今では、スタッフとして10人以上の人が当日の運営や、持ち込まれた物の整理などに子どもたちと一緒に携わっています。こうした地域の方とのふれあいが、子どもたちの成長にとっても大きくプラスになっているそうです。

子どもたちにもよい効果が！

「地域交流バザー」を始めると、たくさんの人との交流が生まれました。売りに来る人、買いに来る人。人と接することの苦手な子どもも、このバザーを通して地域の人と接する機会が増え、少しずつ人と接することができるようになっていったといひます。そして、子どもたちが、地域の人と一体となって、バザーを運営していくようになりました。今では、毎年秋の文化祭のような感覚で楽しみにしている子どもも多いそうです。

関係者のことば

彩星学舎のスクールマネジャーの橋本克己さんは、「地域の人たちがいろいろな形でバザーを支えてくれるのはありがたいことです。最近では、物の売り買いというよりはNPO活動を支えていこうとしてくださる方々が、バザーで安い物を買うという身近な形でNPO活動を支援してくださっているということを感じます。「地域交流バザー」が、地域の人たちがNPOに関わるきっかけになっている、また私たちが地域の人たちと関わるきっかけになっていると感じます」といひます。

今年の「地域交流バザー」は

11月7日(金) ~ 9日(日)

さいたま市浦和区の彩星学舎にて

(バザーに出品するもの受付は)

10月から、彩星学舎にて

彩星学舎の連絡先

〒330-0043 埼玉県さいたま市浦和区大東2-12-33

TEL: 048-884-1234 FAX: 048-884-1598

ホームページ: <http://saisei.jp> E-mail: saisei@saisei.jp

コミュニティマップのご案内 県内のイベント情報が盛りだくさん!

彩の国コミュニティ協議会発行のコミュニティマップをご覧になりたい方は、120円切手を同封の上、彩の国コミュニティ協議会事務局 表紙下記参照までへお送りください。

